

◆ パーソナル デジタル端末のトレンド

1. オープンソース、オープンプラットフォームへ

- 通信キャリアやコンテンツプロバイダーに依存しないオープンなプラットフォーム

- iPhone/iPadのApple Store (一定の審査あり)



- オープンソース、ソースの自由な活用による市場の活性化

- GoogleのAndroid OS, Android Market (汎用OS Linuxをベースとしたオープンソース化されたOS、ソースコードが無償公開、改変利用可、自由にアプリの公開可)

+ 高度な検索エンジン、膨大な検索DB …Google Phone, Google TV, Google Bookへの展開

+ ”マッシュアップ”によって、新たなアプリやコンテンツが生み出される好循環

2. 利便性の高いユーザインターフェイスへ

- タッチパネル、ジャイロセンサー、位置情報連携
- AR(拡張現実)技術の活用 ex.セカイカメラ
- フルカラー タブレット型端末

◆主なパーソナル デジタル端末の比較(1)

(電子書籍対応のみ、スマートフォンを含む)

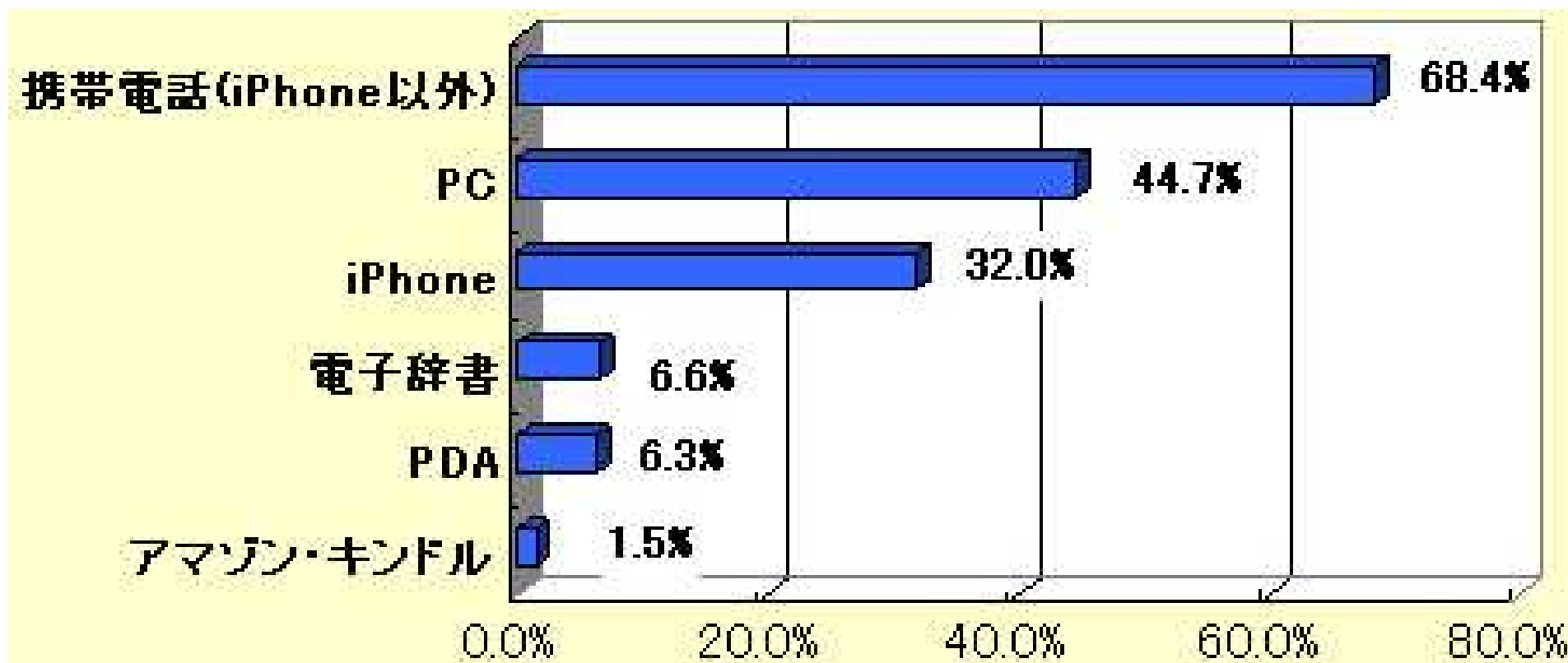
ブランド	Kindle (各国)	Reader (米など)	iPad (各国)	iPhone 3 (各国)
供給元	Amazon	SONY	Apple / AT&T, Softbank	
OS	独自OS	独自OS	iPhone OS(独自OS)	
通信	携帯3G		WiFi + 携帯3G	
ディスプレイ	電子ペーパー・白黒 6インチ・9.7インチ	電子ペーパー・白黒 7インチ	液晶・カラー 9.7インチ	液晶・カラー 3インチ
アプリケーション・コンテンツ	供給元が承諾したものだけを公開(有償/無償)			
電子書籍コンテンツ規模	45万冊以上	Googleの無料提供を含め、120万冊以上	150万冊以上	23万冊以上
電子書籍以外の機能	電子書籍以外の機能は少ない。Flash非対応	デジタルオーディオプレーヤー機能がある	多様な機能・アプリケーションが利用可能。Flashには非対応	
重量(g)	290 / 535	290	700	135
価格(円)	24,000	38,000	48,000~80,000	50,000
特徴	電子ペーパー・eインクにより、目に優しく印刷物に近い視覚と軽量化、低電力消費を実現	電子ペーパー・eインクにより、目に優しく印刷物に近い視覚と軽量化、低電力消費を実現。キーボードがなく、インプット機能はない	大画面により雑誌、写真集、図鑑のような電子書籍、映像コンテンツ再生、カーナビなどの利用需要が高い	タッチパネルなどのユーザインタフェースの利便性が評価された。スマートフォンの位置付けだが、電子書籍を利用するユーザが多い
	100カ国で発売。コンテンツは当面、英語版のみでAmazonからの配信に限られる	電子書籍は自社配信に加え、GoogleやBarnes & Nobleからも配信される	カメラは外付け。ノートPC代わりにするというニーズもあるが、ビジネス用としては操作性・機能でパフォーマンス不足	米国では3G携帯通信料が定額でなくなったことから、ユーザの不満が高まっている
市場の反応	300万台以上の普及。先行して市場投入され話題を集めたが、単色で、書籍以外の機能が少ないことからiPad等に人気を奪われている 	40万台と、やや低調。日本ではAppleやAmazonの「1社独占プラットフォーム」に対抗し、KDDI、凸版印刷、朝日新聞社と共同で提供する「参加企業や端末を限定しないオープンな配信プラットフォーム」に期待が高まっている 	iPod→iPhoneで確立された操作性(タッチパネル等のユーザインタフェース)、機能性(多様なアプリケーション、通信連携、位置情報運動等)を受継ぎ、発売直後から高い人気を得た 	スマートフォンの代表格として高い人気を得ている 

◆主なパーソナル デジタル端末の比較(2)

(電子書籍対応のみ、スマートフォンを含む)

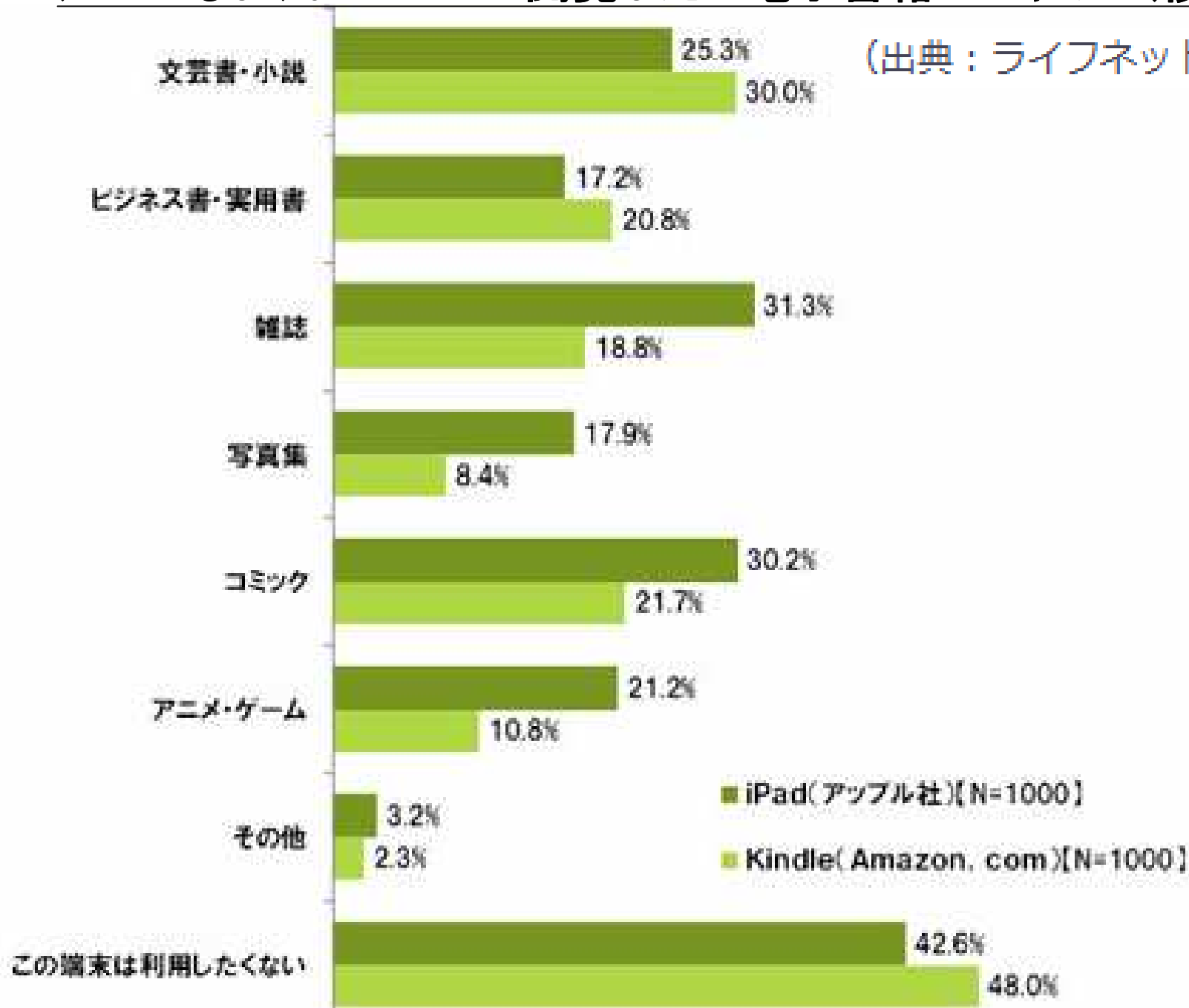
ブランド	NOOK (米のみ)	Xperia X10 (各国)	IS01 (日本)	IS02 (日本)
供給元	書店大手Barnes & Noble	SONY Ericson / NTTドコモ	SHARP / KDDI	東芝 / KDDI
OS	Android (Googleが無償提供)			Windows (Microsoft)
通信	WiFi + 携帯3G			
ディスプレイ	電子ペーパー・白黒6インチ + 液晶・カラー3.5インチ	液晶・カラー 4インチ	液晶・カラー 5インチ	有機EL・カラー 4.1インチ
アプリケーション・コンテンツ	供給元が承諾したものだけを公開(有償/無償)	自由に公開(有償/無償)	比較的柔軟に公開 (有償/無償)	自由に公開 (有償/無償)
電子書籍コンテンツ規模	Googleの無料提供を含め、100万冊			
電子書籍以外の機能	各種アプリケーションが利用可能	多様な機能・アプリケーションが利用可能		
重量(g)	317	139	220	160
価格(円)	24,000	50,000	50,000	50,000
特徴	白黒とカラーの2種のディスプレイを搭載。Android OSであることから、今後のバージョンでコンテンツ増大、多機能・多用途への拡張のポテンシャルがある Android OS機のオープン性を規制し、コンテンツ・アプリは限定される	Android OSが持つオープン性が制限がなく使える	Androidが持つオープン性がゆえのネットワークセキュリティでの脆弱性をカバーするため、アプリケーションのマーケットプレイスに一定の制限が加えられた 2つ折りディスプレイ部とフルキーボード部からなる。ワンセグチューナを標準搭載	AppleやAndroidのようなMarket Placeはないが、様々なサイトで公開されているアプリをダウンロード可能である Windows OSにより、パソコンとのファイルのやりとりなどでの互換性が高い
市場の反応	iPadに人気を奪われているが、2010年3月に米国で出荷された電子書籍リーダーでは、Kindleを抜いて53%を占めた 	Android OSの持つ自由度を好むユーザに受け入れられ、日本での発売当初はiPhoneの月間売上台数を上回った 		

◆電子書籍を読んだことがあるという人(61.8%)は
どのような機器で読んだことがあるのか (複数回答)

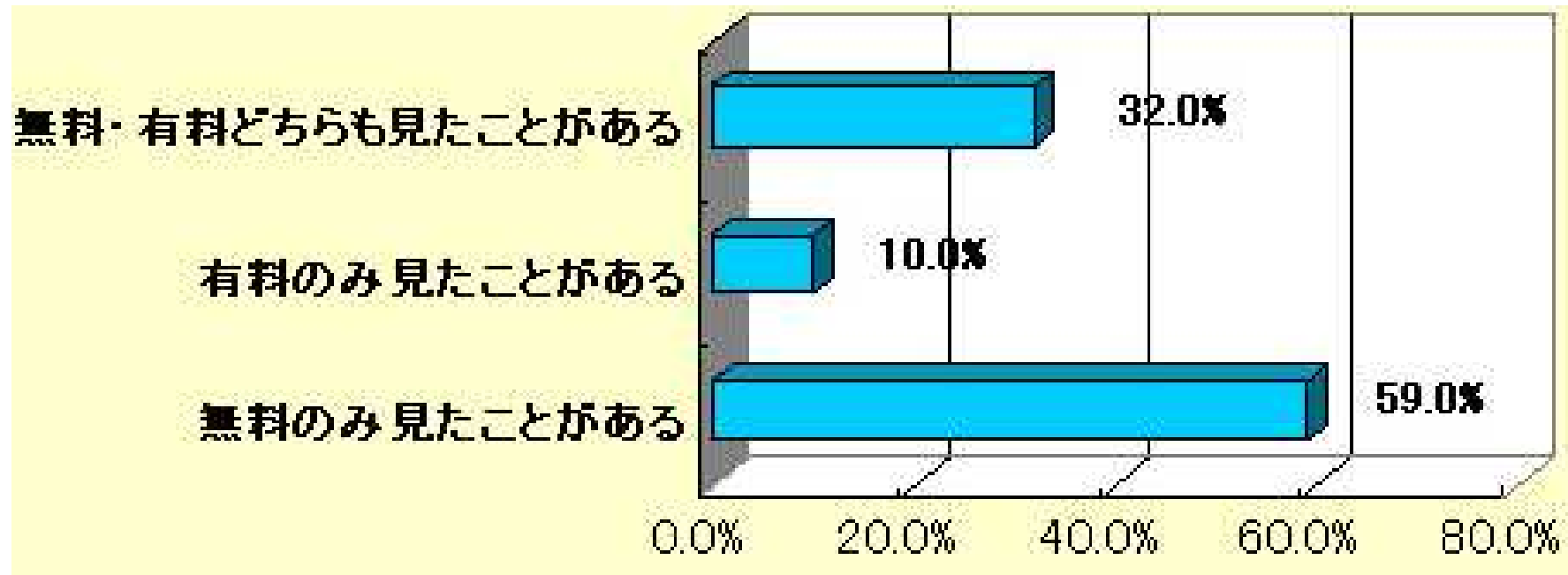


◆iPadもしくはKindleで閲覧したい電子書籍のジャンル（複数回答）

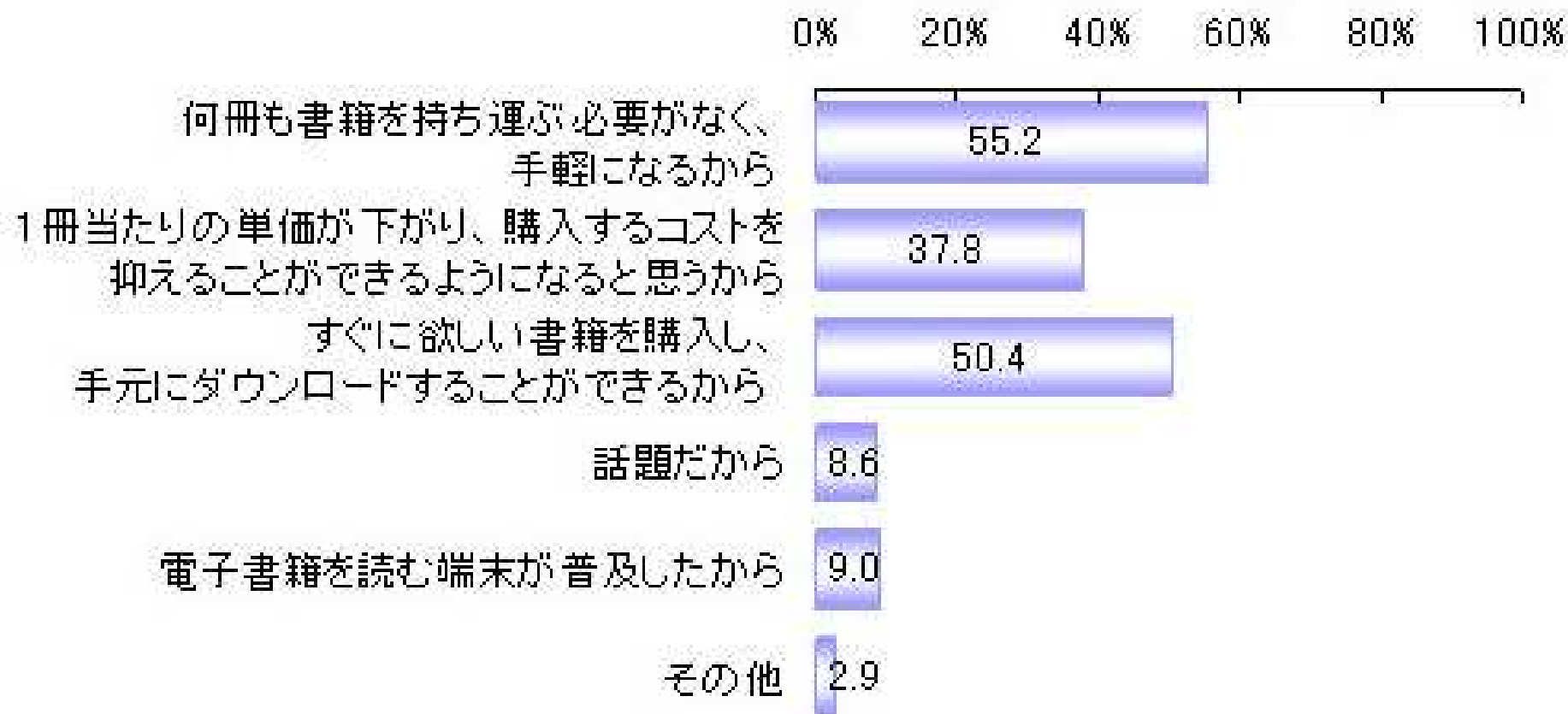
(出典：ライフネット生命保険)



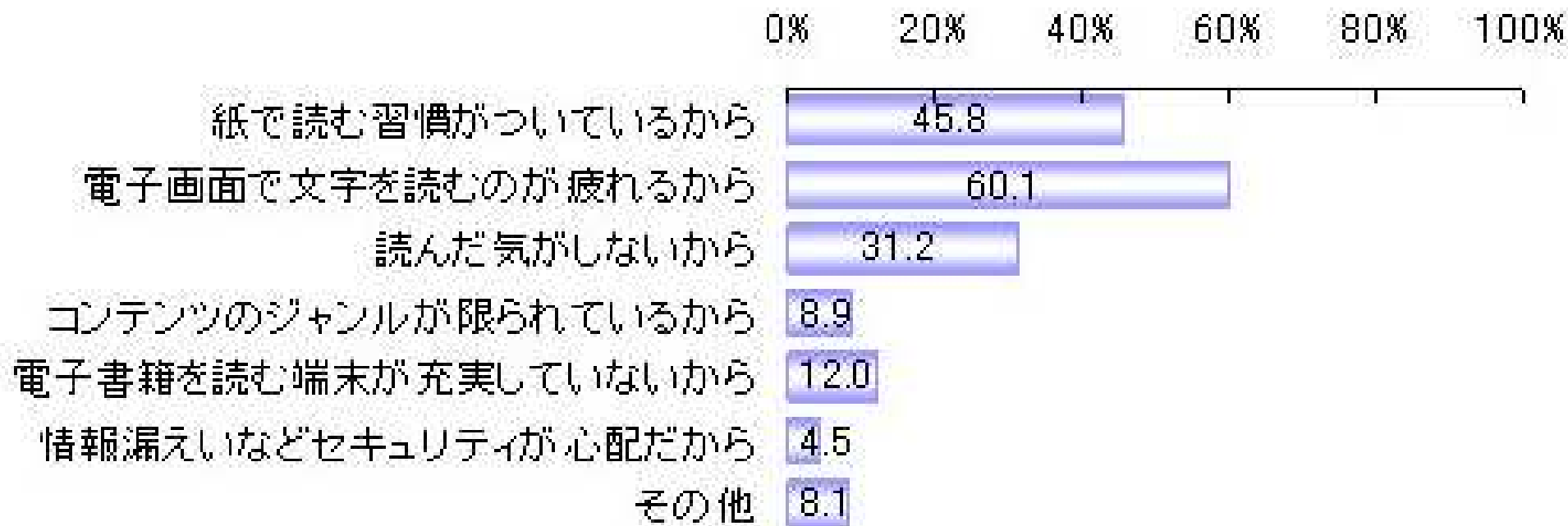
◆読んだことがある電子書籍の無料・有料の別



◆電子書籍を利用したい理由



◆電子書籍を利用したくない理由（1）



◆電子書籍を利用したくない理由（2）

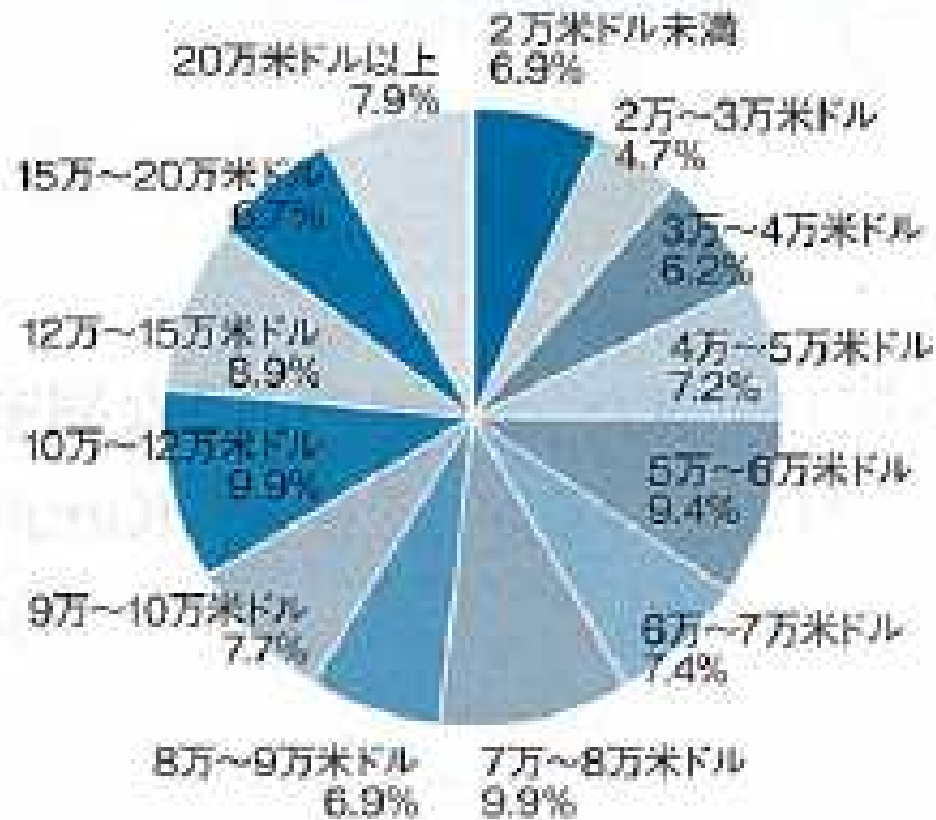
設問	選択肢	総合	男女別		年代別				
			男性	女性	10代以下	20代	30代	40代	50代以上
Q6.電子書籍サービスは利用したくない、またどちらともいえないと答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答可）	1.無料でないと利用したくない	44.2%	42.6%	48.3%	51.9%	41.9%	37.7%	42.7%	39.9%
	2.デジタルデータより紙の書籍がよい	57.3%	54.5%	64.0%	55.7%	59.7%	53.7%	50.4%	48.1%
	3.電子、紙媒体に限らず書籍を読まない	5.7%	6.3%	4.2%	6.0%	5.9%	4.8%	3.7%	6.8%
	4.欲しいコンテンツが電子書籍化されていない	19.6%	21.3%	15.5%	16.0%	19.8%	25.7%	23.2%	21.3%
	5.その他	10.5%	11.0%	9.0%	9.3%	10.6%	12.0%	11.1%	12.6%
Q7.電子書籍サービスを利用している、また利用したいと答えた方にお聞きします。デジタル化された出版物を購入するのに、紙の出版物の定価と比べどのくらいの金額まで支払えると思いますか。	1.紙の出版物より安い金額まで	66.5%	64.7%	70.9%	61.6%	67.0%	72.6%	72.3%	72.9%
	2.紙の出版物と同じ金額まで	29.0%	30.3%	25.8%	32.9%	28.8%	24.1%	24.0%	20.2%
	3.紙の出版物より高い金額でも構わない	4.5%	5.0%	3.3%	5.5%	4.2%	3.4%	3.7%	6.9%

（出典：ニワンゴ）

◆米国でKindleを利用するのは？

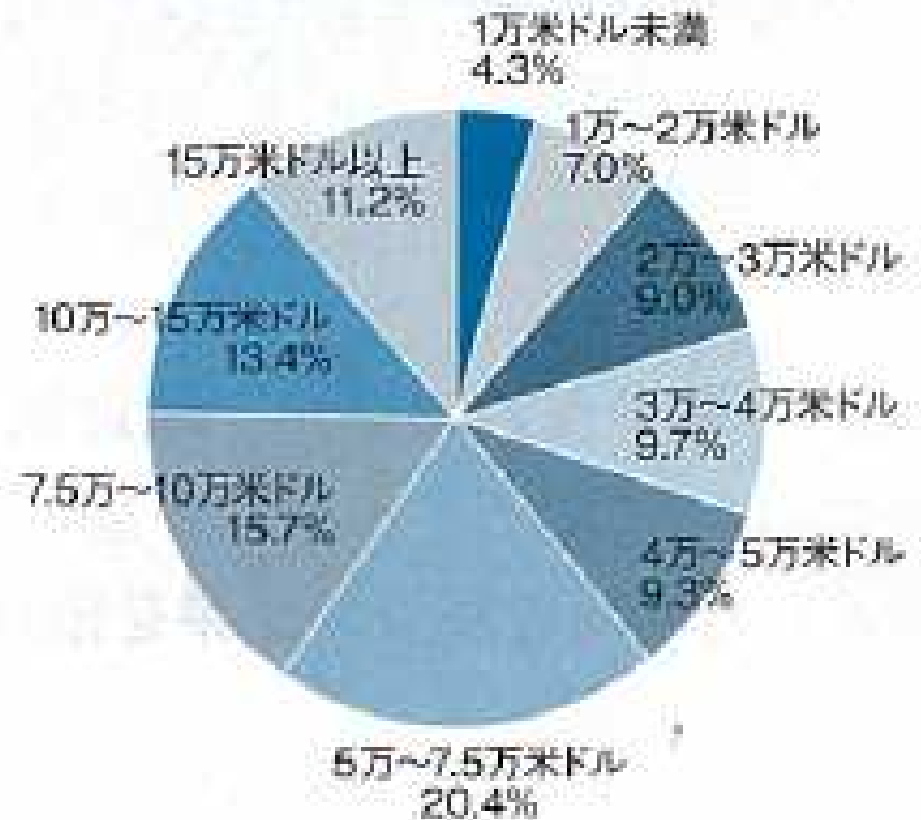
Kindle利用者の世帯年収(今回の調査)

▶世帯年収(中央値):8万5000米ドル
▶年間平均購読書籍数:39.1冊



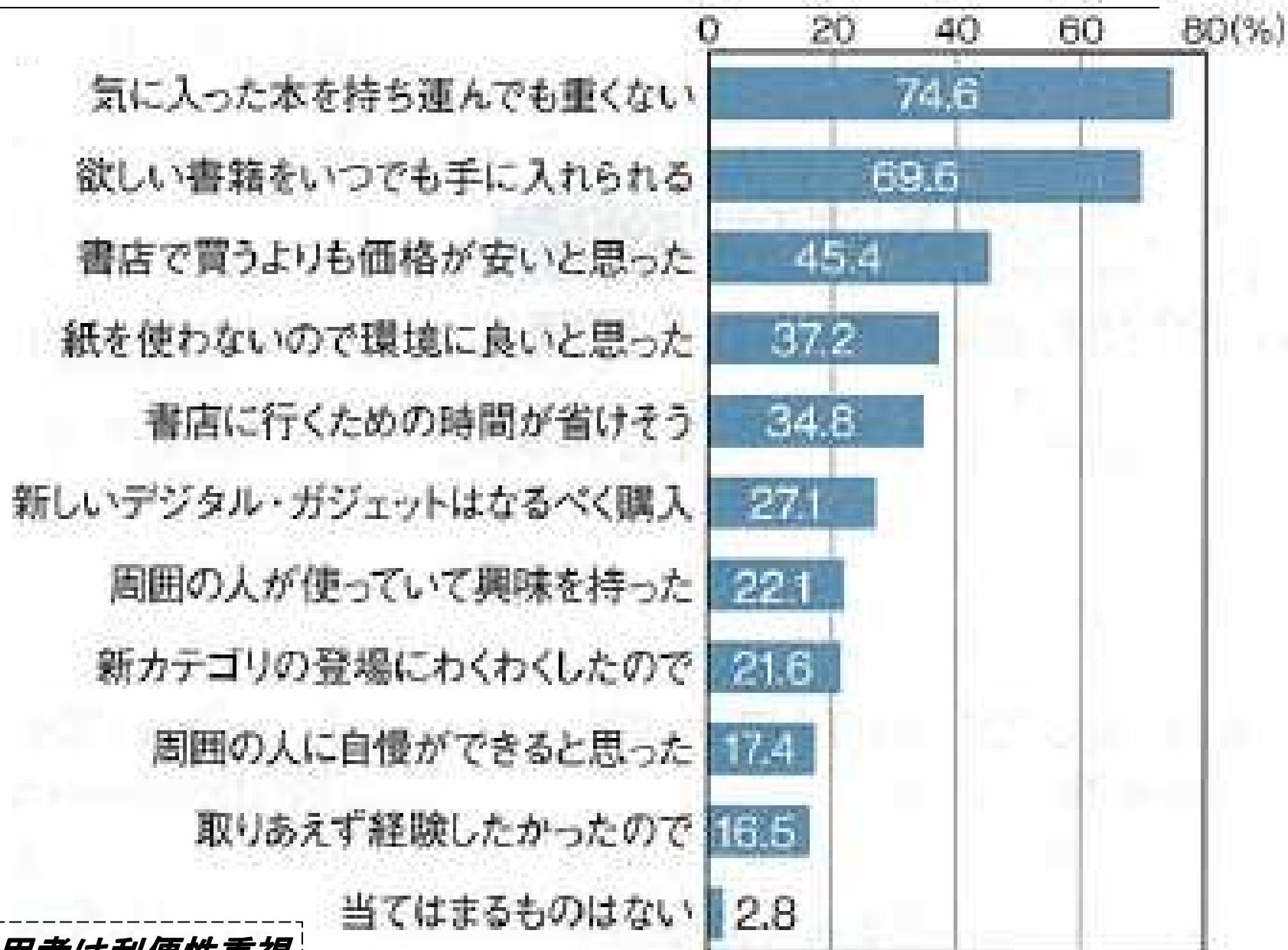
年間に1冊以上書籍を読む成人の世帯年収

▶世帯年収(中央値):6万2500米ドル
▶年間平均購読書籍数:14.2冊



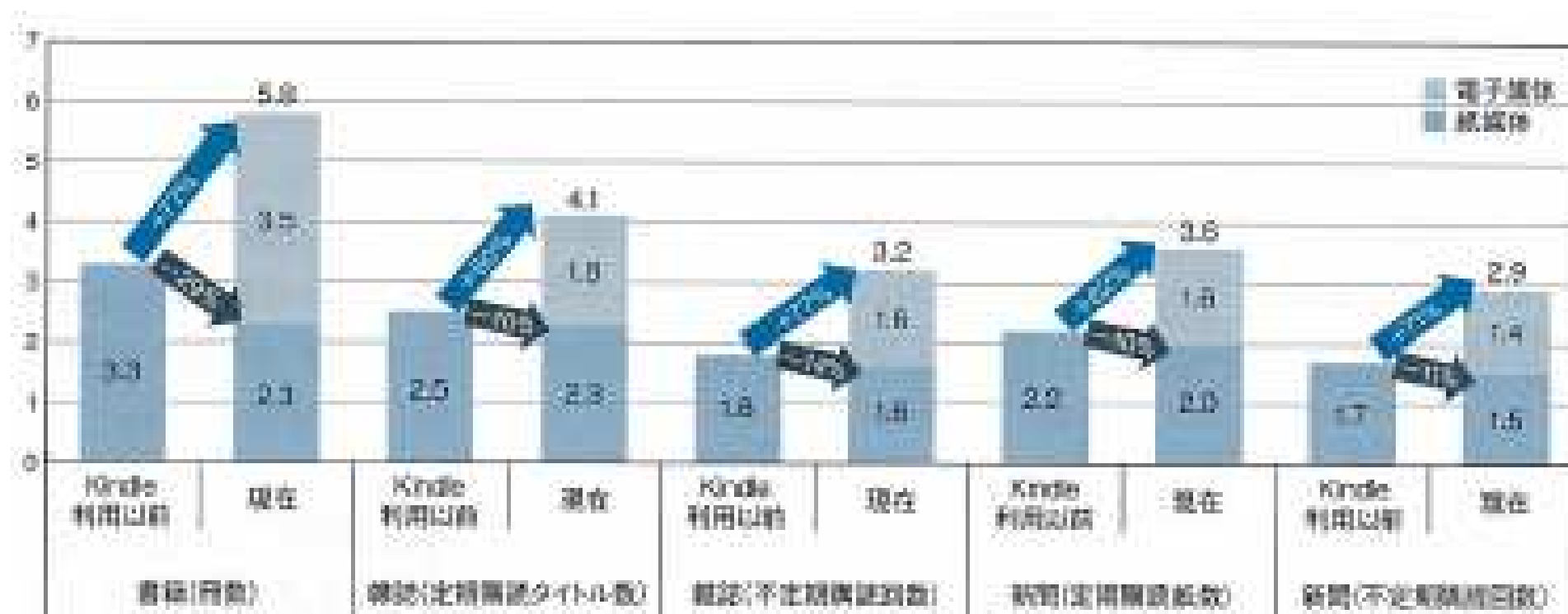
Kindle利用者は高所得で読書好き

◆Kindleの購入理由/動機（米国）



Kindle利用者は利便性重視

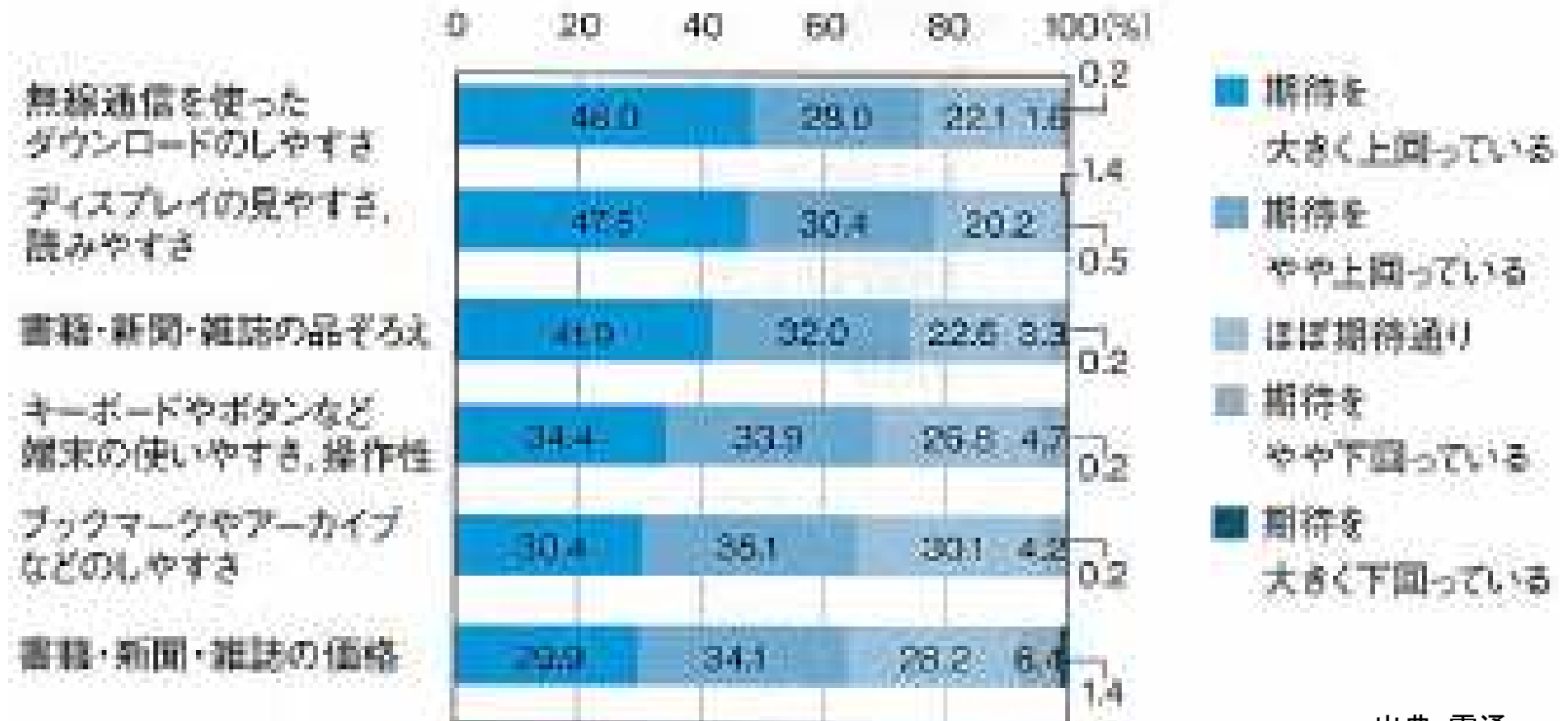
◆Kindle利用前後の月間購読数（米国）



出典:電通

Kindle利用後、紙媒体の購読は減ったが、電子媒体を含めた購読は1.6倍程度増加

◆Kindle利用後の評価（米国）

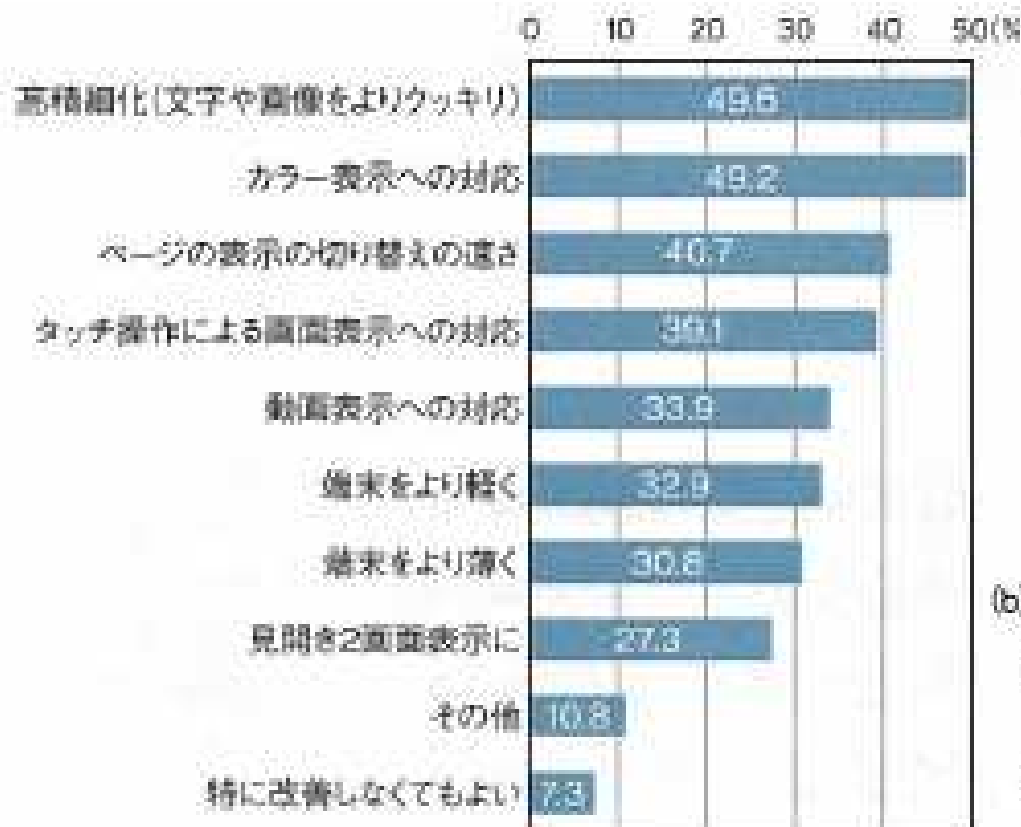


出典：電通

Kindle利用者の多くが期待以上であると評価

◆Kindle利用者のカラー液晶タブレット型端末への志向は？（米国）

○Kindleで改善してほしいと思う点は

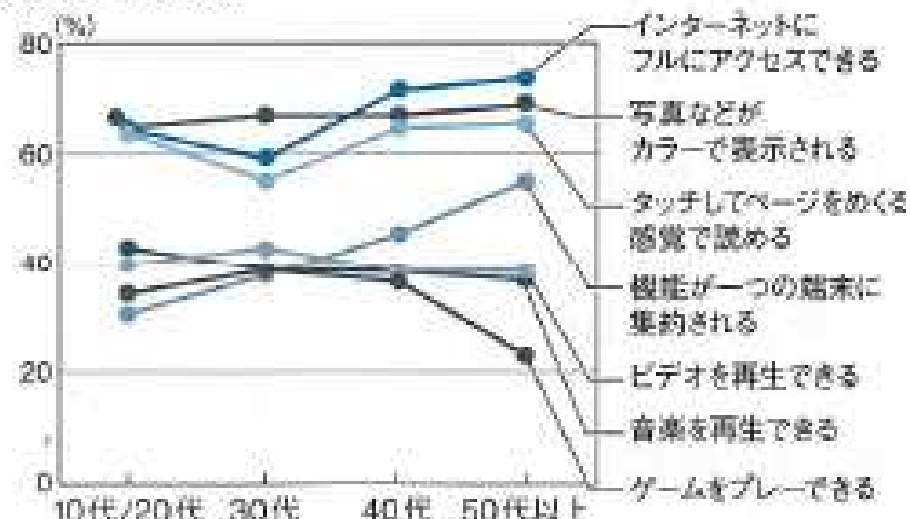


○カラー液晶タブレット型端末を購入したいか？

(a) 購入検討意向



(b) 魅力を感じる点

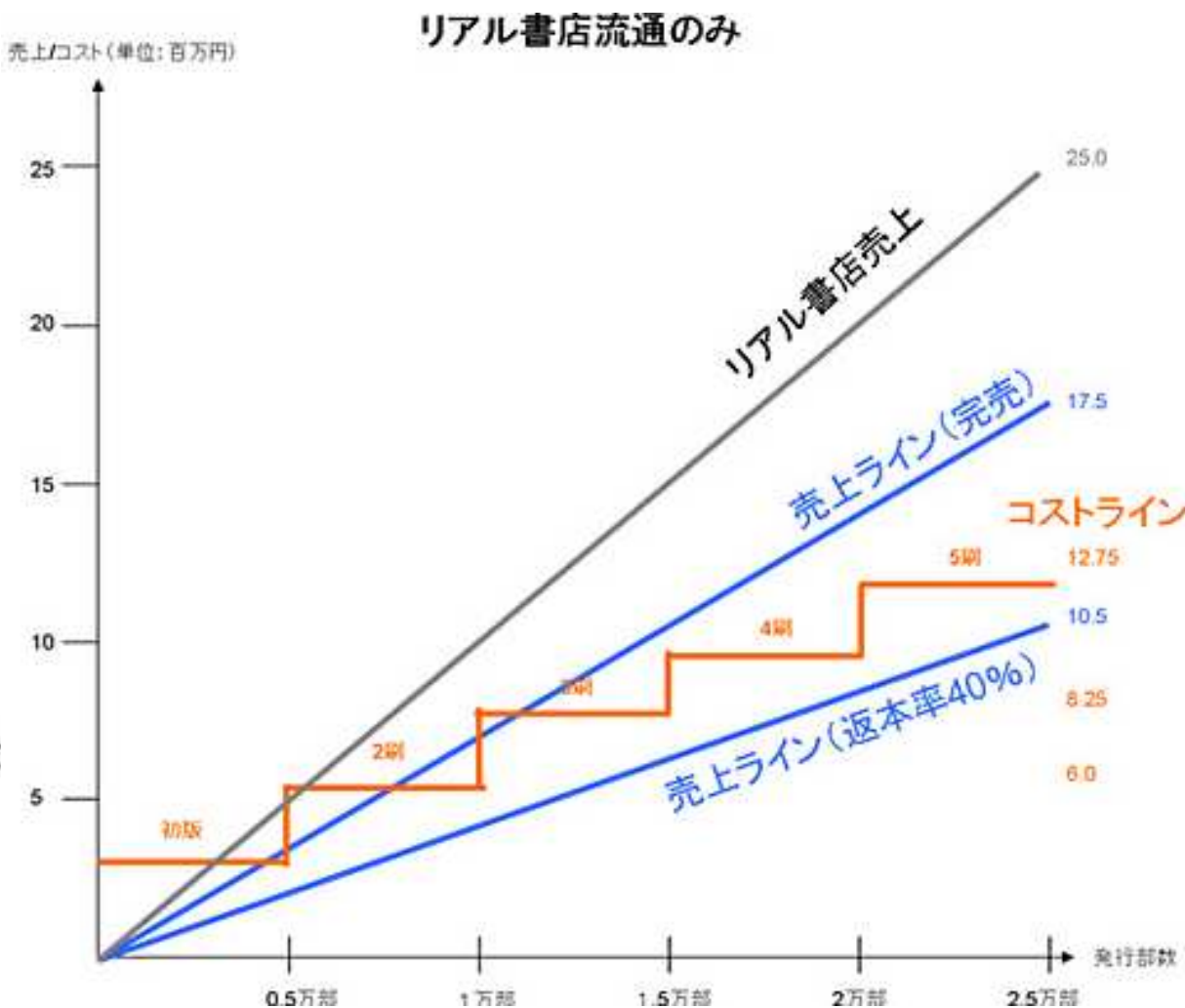
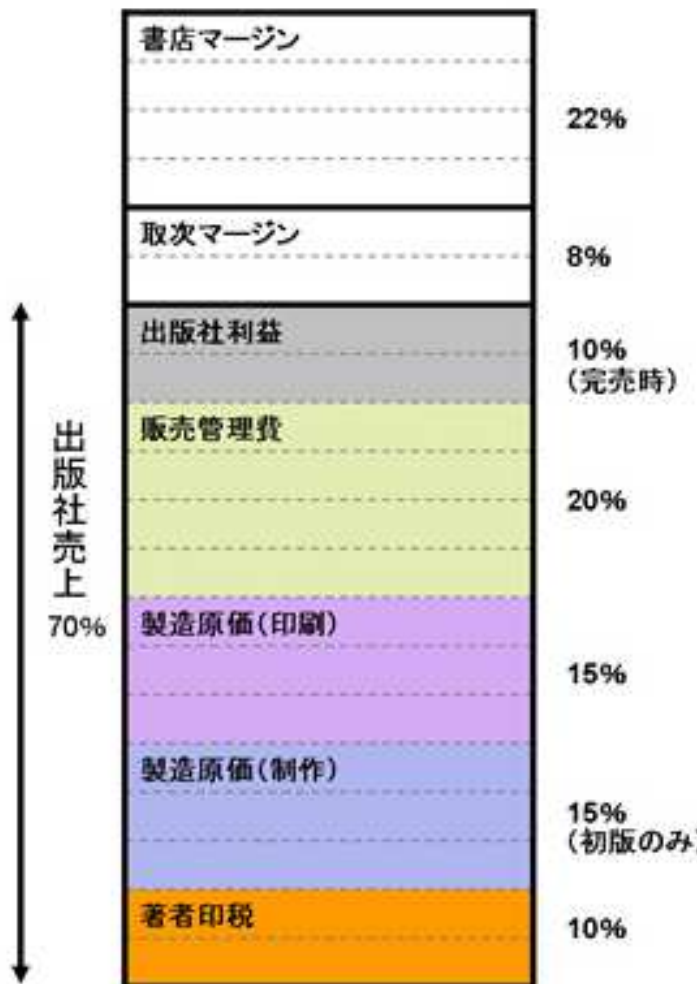


出典：電通

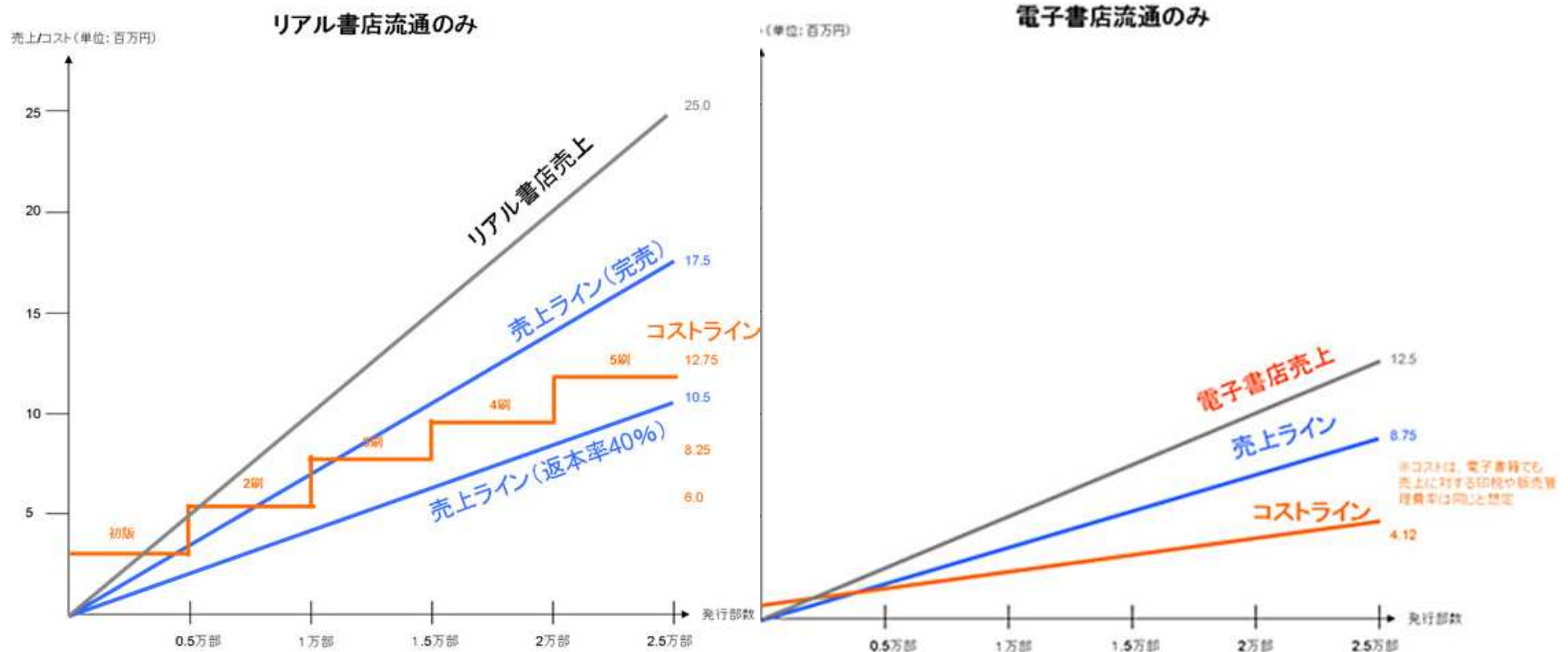
◆一般的な書籍出版の利益構造

印刷した部数が完売した場合

実際には、書籍の平均的な返本率は40%程度。
卸値が70%でも、販売部数が60%程度であれば、
利益は本の売上比で42%で赤字となる



◆一般書籍のリアル書店・電子書店流通での売上・利益



→これを電子書籍で考えれば、更にコストが下がり、損益分岐点も下がる。
電子書籍では、より少ない部数でも利益が得られやすいと考えられる。